

平成30年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文2】

(法文学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は8ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

小論文2

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(福田恆存^{つねあり}『人間・この劇的なもの』より。一部改変)

(注) 施主：葬式、法事などを主人役となつてとりおこなう者。

猥雑：ごたごたと入り乱れていること。

献酬：酒杯をやりとりすること。

フォーティンブラス：シェークスピアの戯曲『ハムレット』の登場人物の一人。戯曲の終幕に登場し、最後の台詞を述べる。

- (1) 本文中の空欄ア～オに、「遺族」もしくは「会葬者」のいずれか一方のうち適切な語を入れなさい。
- (2) 下線部①について、葬儀が「悲しみを味わいつくすことを目的としている」とあるが、葬儀が持つ特徴の中でこの目的の達成に大きな役割を果たしているものとして筆者が指摘している特徴を二つ挙げなさい。また、その二つの特徴は葬儀に際してそれぞれどのような役割を果たしているか、本文に即して説明しなさい。

② 資料1～5を読んで、後の問いに答えなさい。

【資料1】 熊本地震1年 関連死防ぐサポートを

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(朝日新聞2017年4月14日朝刊)

【資料2】 熊本地震1年 生活再建へ支援きめ細かに

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(読売新聞 2017 年 4 月 14 日朝刊)

【資料 3】 熊本地震から 1 年 活断層への備え怠るまい

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(毎日新聞 2017年4月13日朝刊)

【資料4】 熊本地震1年 関連死防止策の強化急げ

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(産経新聞 2017年4月14日朝刊)

【資料5】 地震に備え自治体の共助をもっと強く

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(日本経済新聞 2017年4月14日朝刊)

(資料1～5については、一部改変)

- (1) 熊本地震における「震災関連死」の問題とはどのようなものか、資料1～5に即して説明しなさい。
- (2) あなたは震災被害を減らすためにどのような取り組みが必要となると考えるか。資料1～5を踏まえ、自治体などの公的機関の立場と自身も含めた地域住民の立場のそれぞれに立って、あなたの意見とそうように考えた理由について述べなさい。